

**歴史文化保存展示施設専門検討委員会 第 3 回展示部会  
意見要旨《発言順》**

報告(1) 浜田市子育て支援センターとのヒアリングについて	
No.	内容
質問・意見なし	

報告(2) タブレットの活用事例について	
No.	内容
質問・意見なし	

議題(1) 歴史文化保存展示施設の展示の考え方・内容について		
No.	内容	
1	意見	各テーマの展示に、関連人物を入れて欲しい。子どもたちは人物に関心を持つことが多く、このことが郷土学習につながる。古代では柿本人麻呂、中世では御神本氏、近世では松平康定公、会津屋八右衛門、近代では俵国一、俵孫一、島村抱月、木口小平などが考えられる。 ゾーニングについては賛成である。
	意見	人物を通して歴史を見ていくことは重要である。歴史的な事柄だけを取り上げるのはよくない。
2	意見	ゾーニングについては賛成。 本展示施設の目玉は子どもを対象としていることであり、一方的な情報提供にならないように、マンガやゲームで学べるなどのいろいろな展示手法を模索する必要がある。また、活用事業との絡みも考える必要がある。
	意見	学習指導要領では、対話的な学びがうたわれている。従来の一方的な展示ではなく、双方向の関係を考える必要がある。
3	意見	常設展示の 255 m <sup>2</sup> で偉人を絡めて展示することは可能と思う。また、マンガや映像などデジタルコンテンツは、100 m <sup>2</sup> の企画展示室での対応は可能か。現在の浜田郷土資料館では、古文書・古写真・古書籍などのデジタルコンテンツも求められることがある。
	回答	企画展示室において、ある時代に絞ってマンガ等を用いるこ

		とは可能である。ただ、企画展示替えと合わせたペースでソフトやアプリの更新をすれば経費がかかる。
4	意見	展示の中身について、16世紀末から17世紀初頭の戦国から近世への移行期についても重要と思う。近世では、津和野藩についても項目に入れるべきである。
5	意見	津和野藩の扱いなど、浜田の歴史と言ったときに、「浜田」をどの範囲で見ると確認する必要がある。
	回答	「浜田」は現在の行政区である浜田市としている。このため、津和野藩についても扱う。現在の展示内容には、津和野藩が入っていないため、修正する。また、中世の領主についても、三隅氏や福屋氏も含んでいると認識していただきたい。
6	意見	展示手法としては、神楽では囃子などの音楽、民具では石見弁や石見焼の水琴窟などの音声を取り入れたら面白いだろう。
7	意見	展示内容については賛成。今後は、展示をいかに見ってもらうかの議論が必要となる。
8	意見	浜田開府400年ミュージカルの時にも議論があったが、浜田の歴史を扱うときには、浜田藩のみではやはり良くない。津和野藩も大事であり、天領も大事である。
9	意見	展示テーマの核となる浜田の特徴について、議論をいただきたい。
10	意見	浜田の地理的条件は特徴である。現在も高速道路が2つあるように、海側、山側の両方の交通網の拠点である。近世には北前船も寄港しており、港も特徴である。
11	意見	「石見神楽と風土」のシンボル展示を受けて、各セクションを展開させる流れが大切である。
	意見	石見神楽を使ったシンボル展示では、石見人の誇りや気質などが理解してもらえると感じる。この神楽のインパクトを持続させるような展示が理想である。
12	意見	浜田の港を特徴づけるものとしては石見焼があり、広域にわたる流通が確認されている。石見焼は浜田の産業を物語るものでもある。
13	意見	浜田を出た人にアンケートを取ったら、浜田の魅力として、海を挙げる人が多かった。産業としては石見焼と石州瓦、音としては石見神楽の囃子であった。また文化勲章を受けている人

		も多い。これらが浜田の魅力であろう。
14	意見	石見の風土や石見人の気質を知るには、田畑修一郎の「出雲・石見」の書籍が参考になる。
15	質問	展示のゾーニングについては、資料のとおりでよろしいか。
	回答	賛成。
16	意見	展示テーマの核となる浜田の特徴については、海に開かれた地にあり、政治や経済の中心地となり、山間部も含めた流通の拠点、でよろしいか。
	回答	異議なし
17	質問	歴史文化保存展示施設と浜田城資料館や金城資料館との連携はどう考えているのか。
	回答	歴史文化保存展示施設は、浜田市全域を学んでもらう施設であり、また交流拠点の役割も持つものとしている。このため、各資料館との連携も図っていく。
18	質問	例えば、浜田城跡の資料については、浜田城資料館と歴史文化保存展示施設の両方で展示するのか。
	回答	その通りである。同じテーマを扱うにしろ、展示の見せ方やテーマへの切り口は様々であるため、各施設と連携をして展示を行う。
19	意見	交流拠点としては、日本遺産との関連も必要となってくるだろう。展示については、常設にするとかパネルで案内するなどのパターンが考えられる。
20	意見	多くの素材があり、全てを展示するにはスペースが足りないため、スマホやタブレットを活用する必要がある。GIGAスクールなどを踏まえると、今後必ず必要となるものである。
21	質問	常設展の導線方向は時計回りがよいのか。
	回答	一筆書きの導線を示しただけで、反時計回りでもよい。ただ、説明の書き方がそれぞれ異なってくる。
22	質問	障がい者への配慮として、何か考慮されているか。

	回答	<p>ハード面では、車椅子利用を想定した導線幅の確保などを考えている。ソフト面では、文字が読みにくい方へは、映像やイラストを盛り込んだ説明文、視覚障がい者については、音声＋点字等の説明が考えられる。また、点字など触れる必要があるものについては、コロナの影響もあり、抗菌素材を利用するなどが考えられる。</p>
--	----	--